

第26回 母乳育児支援研修会 (実技及び講義)

2024年 5月25日(土)26日(日) 大阪府・社会福祉会館会議室

基礎から実践まで日本で唯一の体系的な研修会です

日本における母乳育児の基礎・実践 (10カ条を) を学ぶ



母乳育児についての基本を学びたいけれど…。たくさん文献がある中で何を学んだらいいかわからない…。施設で母乳育児を始めたいけれど、何から取り組んだらいいのか…。取り組み始めてなかなかすすまない。こんな思いにお答えします。WHO・ユニセフ「赤ちゃんにやさしい病院・Baby Friendly Hospital(BFH)」認定の取り組みを考えている施設の方々の質問にもお答えします。参加者との討論を通して、意識、知識を深めていきます。どなたでも参加できます(先着100名)。

乳頭ケアの実技研修のみ、また、講義形式の研修会のみでの参加でも、両方参加でも、自由に参加できます。(実技、講義を通して受講する場合は割引があります)

● 乳管開通法の実技を学ぼう(会場のみ)

5月25日(土)1部 9:30~12:30 2部 13:20~16:20

1) 妊娠中から必要な乳頭の手当て及び乳管開通法 重要性とその方法を学ぶ

実技講習費:会員 4000円 未会員 5000円 実技だけの講習も受けられます。

● 母乳育児支援研修会・講義編(ハイブリット開催)会場とオンラインどちらでも可

5月25日(土)13:30~ 26日(日)16:00まで

参加費:会員 12000円 未会員 15000円 学生 4000円

第1部: 総論 母乳育児の意義と重要性をもう一度考える

- 1) 基調講演:なぜ、今、母乳育児なのか:母乳栄養と母乳育児
- 2) 母乳の栄養、および免疫について、もっと知ろう
- 3) 欧米の母乳の文献をどう読み取るか。諸外国と共通点・違いを知り、日本に合った母乳育児支援を考える

第2部: 実践編 これだけは、おさえておきたい要の支援-1

- 4) 母乳育児支援としての補足を考える・そして10カ条
- 5) 妊娠中からの乳頭ケアの重要性を知る
- 6) 母乳育児支援における多職種連携と協働-院内で母乳育児をはじめ、広げるために

第3部: 実践編 これだけは、おさえておきたい要の支援-2
7) 母子同室・なぜ、赤ちゃんとお母さんはいっしょでなければならないの

8) 母乳育児をはじめのお母さんのために~支援者が押さえておきたいポイント-施設での実践

9) NICU・ハイリスク母子への支援-入院中のケアと退院後も母乳育児が継続できる支援を目指して

第4部: 実践編 退院後のケア

10) 産後ケア-母乳育児を要とした支援

11) 赤ちゃんにやさしい病院(BFH)認定に取り組んでみよう

第5部 母乳育児何でもQ&Aコーナー

* 日本助産評価機構のアドバンス助産師更新要件における「選択研修」

* 日本助産師会の産後ケア実務助産師研修「学習項目⑥:母乳育児支援」に該当します。

* 日本専門医機構認定産科婦人科領域講習を申請中。

13:30 開会の挨拶 永山 善久(小) 日本母乳の会母乳育児支援研修会委員

13:40~15:40

第1部: 総論 ー母乳育児の意義と重要性を考える

13:40~14:30

1) 基調講演: なぜ、今、母乳育児をするのか

母乳育児は栄養面だけではなく、人間形成の基盤となる。栄養から母乳育児への考え方を。

佐藤 文彦(産) 横山病院・山形市立病院済生館 日本母乳の会研修委員会委員長

14:30~15:10

2) 母乳の栄養・免疫について、もっと知ろうー重要性が忘れられていませんか

最近、混合栄養を希望する母親が多くなってきている。母乳の重要性をもう一度確認する

吉田 望(産) 西条中央病院

15:10~15:20 休憩

15:20~16:10

3) 欧米の文献をどう読むかー諸外国と共通点・違いを知り、日本に合った母乳育児支援を考える

最近、乳房を診ない、触らない専門家が増えている。それはなぜか。入院期間が短い欧米の支援との違いは?

永山 美千子 高崎市医師会看護専門学校講師 日本母乳の会研修委員

16:10~16:20 QA 休憩

第2部-これだけは、おさえておきたい要の支援

16:20~17:05

4) 母乳育児支援としての補足を考える・そして10カ条

「母乳不足、即補足」、という考えになっていないか。なぜ不足するのか10カ条を基本にその環境を考える

永山 善久(小) 新潟市民病院 日本母乳の会母乳育児支援研修会委員

17:05~17:20

5) 妊娠中からの乳頭ケアの重要性を知るー母乳育児は妊娠中からの始まっていることを知しましょう

有道 順子(助) サンクリニック

17:20~18:05

6) 母乳育児支援における多職種連携と協働ー院内で母乳育児を始め、広げるためにできること

桑間 直志(産) 富山赤十字病院 日本母乳の会研修会委員

18:10~18:40 母乳育児、BFH 個別相談会 (相談は何でも)

● 乳頭ケア(乳管開通操作)実践研習会 受付 午前の部 9:00 午後の部 12:50

5月25日(土)乳頭・乳房ケア実技研修会			
第1部	第2部		
9:30~9:50	13:20~13:30	妊娠中からの乳頭・乳房ケアの必要性	佐藤 文彦
9:50~10:10	13:30~13:50	妊娠中からの乳頭・乳房ケアの実際	有道 順子
10:10~10:30	13:50~14:10	質疑応答	委員会
10:30~11:45	14:10~15:45	グループに分かれて実技	委員会
11:45~12:30	15:45~16:30	まとめ、質疑応答	



5月26日(日) 9:00-16:00

第2部：実践編 これだけは、おさえおきたい要の支援-2

9:00~10:00

7) 母子同室：なぜ、赤ちゃんとお母さんはいっしょでなければならないの—

どんな生き物も出産後は母子は離れません。母子を離すことはその後の母子にどんな影響を与えるでしょうか。

林 時仲(小) 北海道療育園 日本母乳の会研修会委員

10:00~10:50

8) 母乳育児をはじめのお母さんのために～支援者が押さえておきたい施設でのポイント～

だれでもできる入院中の支援。そのかなめはなんですか。楽しい解説です。

大谷 ゆかり(助) 舞鶴共済病院 日本母乳の会研修会委員

10:50~11:00

<休憩>

11:00~11:50

9) ハイリスク母子への母乳育児支援～退院後も母乳育児が継続できる支援～

母子分離やハイリスク母子への母乳育児支援も大切。入院中から退院後までの支援のポイント。

阿部カナエ(助) 愛媛県立中央病院 日本母乳の会研修会委員

11:50~12:00

質疑応答 QA

12:00~12:50

<昼食>

12:50~13:50

10) 新しい産後ケアについて 母乳育児を中心(要)とした支援

母親が育児を迎えることができる支援の場所として、母乳育児を要とした産後ケアハウスを開設。新しい試みを紹介。

山縣 威日(産) サンクリニック

13:50~14:05

11) 赤ちゃんにやさしい病院(BFH)認定に取り組んでみよう

赤ちゃんにやさしい病院(BFH)をなってみよう。母子を守り、働き甲斐のある施設に変える、

永山 善久(小) 新潟市民病院 日本母乳の会母乳育児支援研修会委員

14:05~15:40

第4部 母乳育児なんでも質問コーナー・

どんな小さなことでも聞いてみよう

司会：桑間 直志(産) 富山赤十字病院

15:40~16:00

15:40~15:55

修了書授与 :アンケート記入

15:55 閉会 挨拶 佐藤 文彦(産) 日本母乳の会母乳育児支援研修会委員長



第26回 母乳育児支援研修会の参加要項

同封の申込用紙でお送りください。

FAX 03-5318-7384

ホームページからもダウンロードできます

●日 時：妊娠中からの乳首の手入れ 実技編（会場のみ）

2024年5月25日(土) 第1部 9時30分～12時30分
第2部 13時20分～16時20分
午後からの講義編に出席の方は第1部に申し込みください

講義編（ハイブリット開催）会場・オンライン どちらでも受講可

2024年5月25日(土) 13時30分～18時00分

5月26日(日) 9時00分～16時00分

●会 場：大阪府社会福祉会館（地下鉄谷町線・長堀鶴見緑地線「谷町六丁目」駅4番出口（谷町筋を南に280m）谷町7丁目交差点を西に入る。542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 06-6762-5681

- 研修費：1) 実技編のみ受講 4,000円(会員) 5,000円（午前、午後各30名）
2) 講義編のみ受講 12,000円(会員) 15,000円(未会員) 4,000円(学生)
3) 実技・講義とも受講の場合 16,000円(会員) 19,000円(未会員)

*1 実技・講義共に受講の場合は1000円引きとなります

*2 資料代含む・なお5/25の昼食はなし。5/26の昼食はお弁当支給

●申込方法：①別紙申込用紙(ホームページから申込用紙をダウンロード可)を日本母乳の会事務局に

②peatixにて申し込みください。 <http://26thbsts.peatix.com>



●締 切 り：5月20日

募集人員 実践編 午前午後各30名、講義編は、会場は80名・オンラインは定員なし
お申し込み後、メールでご連絡いたします

*締め切り後でも、席に余裕がある場合は受け付けますので、お問い合わせください。

●日本母乳の会 事務局：

TEL 03-5318-7383 165-0026 東京都中野区新井3-9-4 FAX 03-5318-7384

E-mail nyukai2022@gmail.com

●日本母乳の会ホームページ <http://www.bonyu.or.jp>（4/1より変更）

*日本助産評価機構のアドバンス助産師更新要件における「選択研修」

*日本助産師会の産後ケア実務助産師研修「学習項目⑥：母乳育児支援」に該当します。

*日本専門医機構認定産科婦人科領域講習を申請中。

主催：日本母乳の会 165-0026 東京都中野区新井3-9-4

TEL03-5318-7383 FAX 03-5318-7384

E-mail nyuukai2022@gmail.com

●2日間受講された方には日本母乳の会の修了証が
発行されます

